



杉本 和彰 議員

## 財務資料の取り組みについて

**問** 18年度決算の財務資料

はどのように公表されたのか。バランスシート並びに行政コスト計算書を整備する目的として、①資産・債務管理、②費用管理、③財務情報のわかりやすい開示、④政策評価・予算編成・決算分析との関係付け等、考えられるがその活用方法、今後の取り組みについての見解を尋ねる。

**答** 今後作成し内容を公表

したい。財務4表は、経営資源、将来返済の負債、資産形成財政等を明らかにし費用対効果、税金の効率的な活用とサービス提供力や将来の住民負担等を予測、より効果的に執行の判断材料として活用する。

**問** 町民生活の改善を犠牲

にして財政指数を改善させるのが行政改革ではない。そこで要返済額を正確に知ってお

く必要があるが。

**答** 長期的な財政収支計画

をあらゆる角度から精査しながら取り組んでいく。

**問** 公会計の目線で考える

と施設を整備する際にはその施設の運営を含めたライフスタイルコストを検討することになるが。

**答** 今後においては資産と

負債、やはり色々なものにバランスシート等を考えていかなければならない。

## 行財政運営の改善について

**問** 行財政運営の改善につ

いて事務改善委員会からの提言を含め20年度予算編成に対して具体的にどのように反映されているのか。

**答** 予算への反映を前提と

した協議ではない。各課を回り厳しい状況を職員に伝えて危機感を持って将来に向けた基礎づくりに取り組むよう指示した。

## 専決処分のあり方について

**問** 専決処分のあり方につ

いては、より慎重に対応すべ

きと考えるが見解を伺う。

**答** 対象の議決の範囲は条

例の制定改廃、予算その他の自治法第96条第1項に示されている。慎重に対応すべきと認識している。

## 平成20年度当初予算編成の基本的な方針について

**問** ①農業振興・森林保全

に係る具体的内容と予算措置された内容について、どのようにお考えか。また将来展望に立った農業振興計画の策定についての考えを尋ねる。②指定管理者制度について今後

の対応策はどのように考えているか。③他に重点項目はどんなものがあるのか。

**答** ①高齢化や後継者不足

の中深刻な状況である。南関町との広域連携で取り組んでいる県営の中山間地域総合整備計画利用、未整備の水田等基盤整備を進めていくことにより遊休農地の減少と効率的な営農形態の確立を図る。米については、畜産農家との連携により良質堆肥の投入やれんげ米とか減化学肥料、減農薬栽培を推進し、安全・安心な良質米の生産を図りたい。単独の農業振興補助金を

670万円予算計上している。中山間地域等直接支払事業約4千800万円。農地・水・環境保全向上対策約1千140万円。森林整備地域支援交付金事業これは森林組合ですが、320ヘクタールに対して1ヘクタール5千円ですが、合計160万円です。4分の1を町が負担している。また間伐促進事業では、町単独で1ヘクタール当たり5万円を出している。②最初の指定は、非公募であったが次回は、公募を含め検討したい。

現在の5つの施設の他にも対象となる公の施設がある。今後導入したい。③防災行政無線の整備、定住促進事業、妊婦検診の拡充、学校統廃合に向けた準備予算、日帰り日当の廃止、乳幼児医療助成の方法の変更、それから中央公民館駐車場の整備、総合支所駐車場の整備、有害鳥獣捕獲委託等です。

**問** EPAを持ち出してお

り、日本の農業は大きな打撃を受ける。国策だから仕方がないではなく、我町の農業政策を今後どのように考えているのか。

**答** 町独自としまして食育

と言われるが、家庭や地域として町民的な広がりを持って地産地消を進めたい。ロマン館・緑彩館の直売所にて率先して買って頂き、町内外にPRしたい。

**問** 浄化槽は、合併後5年間で旧両町の施策を統一するようになっているがどのようなになっているか。

**答** 三加和地区において維持管理に関するアンケートをとっている。それをもとに検討したい。



指定管理者制度を導入しているロマン館



杉本 和彰 議員

## 財務資料の取り組みについて

**問** 18年度決算の財務資料

はどのように公表されたのか。バランスシート並びに行政コスト計算書を整備する目的として、①資産・債務管理、②費用管理、③財務情報のわかりやすい開示、④政策評価・予算編成・決算分析との関係付け等、考えられるがその活用方法、今後の取り組みについての見解を尋ねる。

**答** 今後作成し内容を公表

したい。財務4表は、経営資源、将来返済の負債、資産形成財政等を明らかにし費用対効果、税金の効率的な活用とサービス提供力や将来の住民負担等を予測、より効果的に執行の判断材料として活用する。

**問** 町民生活の改善を犠牲

にして財政指数を改善させるのが行政改革ではない。そこで要返済額を正確に知ってお

く必要があるが。

**答** 長期的な財政収支計画をあらゆる角度から精査しながら取り組んでいく。

**問** 公会計の目線で考える

と施設を整備する際にはその施設の運営を含めたライフスタイルコストを検討することになるが。

**答** 今後においては資産と負債、やはり色々なものにバ

ランスシート等を考えていかなければならない。

## 行財政運営の改善について

**問** 行財政運営の改善につ

いて事務改善委員会からの提言を含め20年度予算編成に対して具体的にどのように反映されているのか。

**答** 予算への反映を前提と

した協議ではない。各課を回り厳しい状況を職員に伝えて危機感を持って将来に向けた基礎づくりに取り組むよう指示した。

## 専決処分のあり方について

**問** 専決処分のあり方につ

いては、より慎重に対応すべ

きと考えるが見解を伺う。

**答** 対象の議決の範囲は条例の制定改廃、予算その他の自治法第96条第1項に示されている。慎重に対応すべきと認識している。

## 平成20年度当初予算編成の基本的な方針について

**問** ①農業振興・森林保全

に係る具体的内容と予算措置された内容について、どのようにお考えか。また将来展望に立った農業振興計画の策定についての考えを尋ねる。②指定管理者制度について今後



指定管理者制度を導入しているロマン館

の対応策はどのように考えているか。③他に重点項目はどんなものがあるのか。

**答** ①高齢化や後継者不足

の中深刻な状況である。南関町との広域連携で取り組んで

いる県営の中山間地域総合整備計画利用、未整備の水田等基盤整備を進めていくことにより遊休農地の減少と効率的な営農形態の確立を図る。米

については、畜産農家との連携により良質堆肥の投入ややれんげ米とか減化学肥料、減農薬栽培を推進し、安全・安心な良質米の生産を図りたい。単独の農業振興補助金を

670万円予算計上している。中山間地域等直接支払事業約4千800万円。農地・水・環境保全向上対策約1千140万円。森林整備地域支援交付金事業これは森林組合

ですが、320ヘクタールに対して1ヘクタール5千円ですが、合計160万円です。4分の1を町が負担している。また間伐促進事業では、町単独で1ヘクタール当たり5万円を出している。②最初の指定は、非公募であったが次回は、公募を含め検討したい。

現在の5つの施設の他にも対象となる公の施設がある。今後導入したい。③防災行政無線の整備、定住促進事業、妊婦検診の拡充、学校統廃合に向けた準備予算、日帰り日当

の廃止、乳幼児医療助成の方法の変更、それから中央公民館駐車場の整備、総合支所駐車場の整備、有害鳥獣捕獲委託等です。

**問** EPAを持ち出してお

り、日本の農業は大きな打撃を受ける。国策だから仕方がないではなく、我町の農業政策を今後どのように考えているのか。

**答** 町独自としまして食育

と言われるが、家庭や地域として町民的な広がりを持って地産地消を進めたい。ロマン館・緑彩館の直売所にて率先して買って頂き、町内外にPRしたい。

**問** 浄化槽は、合併後5年

間で旧両町の施策を統一するようになっているがどのようなになっているか。

**答** 三加和地区において維持管理に関するアンケートを

とっている。それをもとに検討したい。